

SSKA

東腎協

2005年 4月24日

No.157

## 東腎協第33回総会議案集

記念パネルディスカッション

「東京に大地震・その時透析医療は!!」～新潟中越地震に学ぶ～



東京都腎臓病患者連絡協議会（東腎協）

事務局・〒170-0005 豊島区南大塚2-42-6 信友大塚ビル6F

郵便振替口座 00150-0-128390 ☎03-3944-4048 FAX03-5940-9556

E-mail info@toujin.jp ホームページ [http://www.normanet.ne.jp/~toujin/](http://www.normanet.ne.jp/~touzin/)

## 第33回総会のご案内

記念パネルディスカッション

記

「東京に大地震・その時透析医療は!!」

新潟中越地震に学ぶ

会場 総評会館  
(千代田区神田駿河台3-2-11)

TEL 03 (3 2 5 3) 1 7 7 1

\*総会は午前10時15分から行われますので、参加者には昼食を留意します。

患者会幹事さんは、ポスターに同封した返信ハガキで参加人数をお知らせください。

\*CAPDバッグの交換のための小部屋を用意してあります。

\*参加者はこの議案集を必ずご持参ください。

交通

- ・東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 徒歩1分  
・東京メトロ丸の内線 淡路町駅 徒歩5分  
・都営地下鉄新宿線 小川町駅 徒歩3分  
・3線ともB3出口から  
・JR御茶ノ水駅 聖橋出口から 徒歩5分  
利用できませんので、公共交通機関でおいでください。



# 記念パネルディスカッション

## 「東京に大地震・その時透析医療は!!」

### ～新潟中越地震に学ぶ～

出席者



長澤俊彦先生

杏林大学学長

長澤俊彦 先生 (座長)

(社) 日本透析医会 常務理事

杉崎弘章 先生

東京都総務局災害対策課課長補佐

小林幹明氏



杉崎先生

小千谷腎友会副会長

水内 隆氏(新潟中越地震体験者)

東腎協災害対策委員長

木下久吉

## 災害は忘れた頃にやってくる

阪神淡路大震災、新潟中越地震、そして先日の福岡西方沖地震、海外でも大津波で大被害が出たスマトラ沖大地震と、地震国日本でも、いつどこで起きてもおかしくない大地震。

東京で透析中に起きたら? いつも通ってる透析施設で透析ができなくなったら?

このパネルディスカッションとビデオが、「もしもの時」に、きっと参考になると思います。

歴史上の節目の「総会」です。  
是非ご参加を!

辛く厳しい冬の季節を耐え抜き暖かく明るい春を感じる頃ですが会員とご家族の皆様、お変わりございませんか? 今回の「総会」では任意団体から新しい方向性により充実した質の高い組織を目指しNPO(特定非営利活動法人)取得のご承認を頂く事が大きな課題となります。また私たちが「命と暮らしを守る」ため、営々と築いてきた掛け替えのない医療と福祉の制度が「改革と見直し」の大義名分のもと、後退の一端を辿り自己負担の施策が準備されている現実に、どの様に備え対処すべきかを会員皆で考え、心を一つに結集して行く時が来しました。

「記念パネルディスカッション」では新潟中越地震を実際に体験された水内さん、災害対策の權威であられる長澤先生、杉崎先生それに都庁総務局災害対策課からのご協力を頂き、今すぐにでも起り得る「東京大地震」に透析患者はどうあるべきかをこの機会に真剣に学びましょう。

東腎協 会長 榊原 靖夫

# 二〇〇四(平成16)年度活動報告

## はじめに

2004年度は東腎協にとって大変厳しい年でした。まず何よりも最重要目標に掲げた会員拡大が目標に届かず逆に減少を余儀なくされました。各患者会の役員高齢化、合併症による活動不能状態、新導入者自身が高齢者であり、また糖尿病性腎症が多いため、全身症状が重篤で、患者会活動に積極的に加わることができないなどという悪条件が重なっています。

さらに2年ごとの診療報酬改定の年にあたり、2002年に廃止された透析時間制や食事費等の回復を全腎協とともに目指しましたが、回復は叶いませんでした。それどころか、昨年4月から使用頻度の高い1・5平米のⅡ型ダイヤライザ1の点数が下げられ、2800円となり、12・2%(390円)の引下げになりました。透析医療の質の低下が危惧されます。

☆  
このように厳しい状況の中、NPO法人化を目指す活動は各プロック交流会での討議や、幹事会での説明、機関誌や東腎協ニュースにおける広報等、会員にとってまだまだ、不十分かもしれませんが執行部としてできる限りの活動を続けてきました。他の活動も2004年度活動方針に則って、着々と進めてまいりました。活動方針の項目ごとに、以下のとおり報告いたします。

### 1. NPO法人(特定非営利活動法人)取得に向けて会員の理解と合意を求めています。

NPO検討委員会は第228回常任幹事会(04、9、12開催)とそれに続く第53回幹事会(04、9、26開催)でのNPO法人化の了解を得て、東京都生活文化局におけ

る事前折衝を精力的に行いました。10月14日、11月11日、12月9日と3回に亘り、いずれも2時間かけて、慎重に検討を行いました。

この事前折衝で、いざばん意見の対立をした事項は、NPO設立の認証申請書に添付する定款第6条の「会員の種類」でした。しかしこれも、第3回目の折衝で、ようやく了解が得られました。後は東腎協内の同意を得て、正式に認証申請に提出する書類を作成する段階に達しました。

内容につきましては、「東腎協」No156(1月発行)巻頭で会員一人一人のお手元に届くよう特集しています。

### 2. 会員拡大活動を継続し、仲間の輪を大きくしていきます。

大都市、首都圏の患者会が抱える最大のウィークポイントである組織率低下現象に歯止めをかけることを目的に組織率向上、会員拡大を活動の重点項目に掲げて数年

が経ちます。しかし、残念ながらその成果は上がっているとは言えない現状です。

入会拒否の原因の追求や、患者会への印象アンケートの実施なども行い、必死に会員減少の原因を探りました。また、本年度、実際の会員拡大活動は具体的目標として前年度に継続して①既存患者会内3人以上の会員増、②新規施設患者会設立の働きかけ、③解散や休会中の患者会復活の3つを上げて、組織対策の委員をはじめ、各プロック長の協力を得て、各腎友会幹事さんには新規入会のご努力を強力に進めてきていただいているところです。

中には本当に会員拡大に熱心に取り組んで大きな成果を上げていただいている患者会がいくつかあることも事実です。しかし、後継者の不在、役員の引き受け手の不足等の理由による「患者会活動の停滞」をはじめ、「休会や解散」にまで、追い込まれた腎友会が本

年度もいくつかあることも事実です。そんな理由で今年度は悔しいことに「会員拡大」どころか、「会員減少」という最悪の結果となりました。

この結果については執行部である常任幹事全員・組織対策委員会がまず、猛省をし、「会員拡大」、「組織率向上」の重要性を再確認して、「東腎協の危機」と捉えなければなりません。

目前に大変厳しい医療費制度や保障制度の改悪と後退を控え、今は何よりも優先して会員拡大・組織率向上による訴求力の強化を目指すべきです。常任幹事を先頭に現実をしつかりと見据え、強い危機感を持って、各幹事、全会員に至るまで、会員の拡大と、組織率向上に邁進すべきときです。

そして「命と暮らしを守る」という目的を達成するために「仲間を一人でも、多く増やす」という共通の意識を持ち、会員一人ひとりが行動を起こすことしか、この「東腎協」が抱える難題を解決する術はないと思われず。

### 3. 魅力ある新しい方向性を東腎協は目指します。

(1) 時代の変化に応じた患者会のあり方を見出す努力をします。

患者会サポーター委員会では、東腎協が取得を検討しているNPO法人格について、その取得の意義を会員の皆様にお知らせし、取得の是非を判断していただくために、その文面を検討し8月に「東腎協ニュース」として発行しました。

また、会員拡大をするにあたり、患者会入会の必要性を簡潔にまとめた、「入会のしおり」の改定を組織対策委員と協力し取りまとめました。遅くなりましたが12月に完成させることができ2000部を印刷しました。さらに、患者会への支援という意味で、個別に東腎協への入会をアピールする案内の文書の依頼に応じ、その患者会向けに編集して、会員拡大の一助となるようにお手伝いをさせていただきました。

事務局に寄せられる相談については今年度分を現在取りまとめ、その傾向を分析しているところですので。

(2) 社会に認知される行動を行い、社会の人々に理解され周知される行動を志します。

東腎協のホームページを作成し、広く一般社会に東腎協の意義と目的の周知を図ってきました。青年部の幹事が各自担当して、機関誌や「腎臓病を考える都民の集い報告集」などを利用して、適宜更新を行い、社会の人々に理解されるように努めてきました。

また、この活動の根幹とも言うべきNPO法人格取得へ向けての活動は最重要項目の1項でも述べましたが、NPO検討委員会で委員長を中心に学習し、東京都の生活文化局へ3回の訪問を重ね指導を受けました。

透析患者自身のみを守るために社会福祉制度の充実や、透析医療の質の向上、医療保険の改悪反対運動など私たちが運動で獲得してきた諸条件は生きていく上で大切であることは変わりませんが、当事者運動のその上にさらに、社会的認知を受け、理解されるためには法人格を得て、情報を一般に公開し東腎協を周知される存在にし

なければなりません。それに向けて、今年度は着々と準備を進めてきました。

(3) 社会貢献を目指した活動を行っています。

「第17回腎臓病を考える都民の集い」はこの2月20日に開催しました。私たちのような透析の苦しみをこれからの人々に味あわせたくないという願いを実現させるために、設立15周年を記念に開催し始めた活動です。

一般都民に腎臓病の知識を広報し、東京都の後援も得て、腎不全対策行政の一助となるよう、また近年慢性糸球体腎炎より、増加している糖尿病性腎症からの透析導入者の予防のために、「集い」を通して、啓蒙を図っています。

今年度も豊島区民センターの6階文化ホールにおいて、271人の参加者で173人が一般都民という成果を上げました。司会は腎臓サポーター協会代表の松村満美子さんと、榎原会長のおいさつが始まり、また、東京都福祉保健局疾病対策課の田原課長のあいさつもいただきました。

#### 4. 医療と福祉を守る全国的運動は全腎協に協力し率先して進めます。

##### 国会請願署名募金運動

この運動は会員の誰もが参加できる重要なものです。東腎協は全腎協に協力して第33次の運動に取組み、2004（H16）年3月25日に国会へ全腎協の各県の仲間達とともに過去最高の110万人を超える署名を届けました。東腎協は4万3563人を集めました。

当日は全国から192人が集まり、午前中の集会には国会議員24人と秘書66人が私たち透析患者の努力をねぎらいました。午後は参加会員が力を合わせて、320人の地元選出国会議員の議員室を訪問し、国会への紹介を要請して、私達の切実な問題を訴えました。東腎協からは榊原会長はじめ役員11人と会員3人が参加しました。この請願は6月16日に閉会した第159回通常国会の衆参両院で採択されました。

JPCの署名数は3万9926人でした。

また、昨年10月から取り組んできた第34回は会員減少傾向の中、

幹事も会員も歯を食いしばってがんばってきましたが、2月24日現在全腎協が3万5739人、JPCは3万4436人でした。募金総額は280万0087円で、全腎協に58万6921円を、JPCに35万0803円を納付しました。会員皆様の協力のおかげでこまめに達成することができました。今年は毎年協力していただいている都職労の応援が得られなかったことも、影響しています。

来年は、大きな団体の協力を開拓していかなければなりません。

JPCの国会請願行動は昨年の6月7日に行われ、「難病対策の早期確立」を要望しました。与野党の議員8人が参加し、全国から集った122人の難病患者や家族が、2233人の国会議員に、紹介を要請しました。東腎協からは榊原会長はじめ常任幹事4人と会員5人が参加して、署名簿を持って国会議員の部屋に行き訴えました。残念ながら、署名は審議未了でした。

##### 全腎協大会in長野への参加

5月23日の第8回目の大会は長野市若里多目的スポーツアリーナ・文化ホールで開催されました。

全国から1684人の会員が参加し、東腎協からは会長はじめ10人が参加しました。7つの分科会すべてに手分けして出席して学習を深め、報告書を作成し、東腎協常任幹事会に役立てました。前夜の交流会にも9人が出席し、全国の会員と交流を深めました。

このほか全腎協の活動を決定する会議として総会が年3回あり、社員代表と理事が出席します。5月（全腎協大会の前日）今年度は長野でした。10月・3月（都内）東腎協からは、榊原会長が社員として出席しています。また全腎協の活動を立案・執行する会議として理事会は年6回です。

##### 関東ブロック会議への参加

7月10・11日に第55回関東ブロック会議が栃木県主催で那須「白雲荘」において開催され、全体で53人、東腎協からは会長はじめ7人が参加しました。1日目の全体会議の議題は「組織拡大・強化対策」「身体障害者助成制度」でした。2日目の分科会は「通院・移送支援問題」「透析者就労に伴う各種問題」「災害対策」でした。

今年度2回目の第56回ブロック会議は千葉の「京成ホテル・ミラマール」で開催されました。参加人数は52人で、東腎協からは会長と他5人が参加しました。議題は全体会議のみで「組織問題」「災害対策」「広報活動」「混合診療反対運動」また2日目の午前全腎協理事の東腎協藤原副会長が講師となつて「医療問題」について講演し、三位一体の改革、介護保険と支援費統合問題が透析医療費助成制度とどうかわかるか学習し、各自自治体に医療福祉制度の後退がないように声を出すことで一致しました。

##### 全国事務局長会議

7月3・4日に大阪ホテル阪急エクスポパークで開かれました。全国から68人、東腎協から2人が出席しました。1日目は講師に全腎協の栗原副会長を迎え「国と地方財政の動きについて」と討論会は全腎協金子理事と大田保彦理事が進行役で「都道府県の医療費助成制度の動向と取組み」と題して、意見を交わしました。

2日目は討論会で「全腎協の組織強化を考えた」でした。東腎協にとって厳しいテーマで資料によ

つても東京は組織率の低さでは30%を切り、全国で下から5番目でした。会員数では上から3番目です。組織率で今後の取組みを要請されました。

#### 相談員研修会

11月6・7日に都市センターホテルで開催され参加者は46人で理事・講師や事務局を合わせると68人でした。東腎協からは4人が参加しました。金子理事が講師で「相談員の役割」と題しスライドが資料で、大変わかりやすく、相談業務の原点を学びました。午後は3つの分科会に手分けして3人が出席し、藤原副会長は第3分科会の講師を担当しました。翌日は分科会のまとめの報告発表と「移送ガイドラインを学ぶ」と題して、講師は東京ハンディキャップ連絡会代表阿部司さんで、「NPOによるボランティア輸送としての有償運送」と「介護輸送」の法的位置づけの説明を受けました。

#### 1都3県組織対策委員会

昨年9月18日千葉県第1米山ビルで全腎協から栗原理事はじめ4人、埼玉県腎臓病患者友の会、NPO法人千葉県腎臓病協議会、NPO法人神奈川県腎友会の3県か

ら各5人と東腎協からは6人が参加して、首都圏特有の組織率低迷に歯止めをかけるための方法を討議しました。

即効薬となる方法は見出せなかったのですが、現況を確認し、東腎協の30%に達しない組織率を改善しなければならぬことの再認識をさせられました。では、誰がどう動くかという具体的方策はその後にも検討されず、ブロックで会員拡大を担当するという結論にとどまり、冒頭にも述べた活動方針の最重要項目である会員拡大に年度末になるまで取り組みがなかったことは大きな反省材料です。

#### 5. 東京都と都議会への要望は実現を目指し、重点的にいきます。

東京都の予算への要請活動の歴史を顧みてもその経過と成果を慎重に評価した上で、この機会に新たな要請活動の内容や手法を模索しながら望み、願いの実現を目指します。

都行政（東京都庁関係各局）だけでなく、全腎協とともに国会ならびに厚生労働省等へ、私達透析患者の「命と暮らしを守る」、「福祉と生活の質の向上」の実現を目

指し請願や行動を行いました。また、国や都への働きかけとより良いコミュニケーションをとることを目的に行政委員会は今年度も活動しました。

また、東腎協活動の中でも、重要な位置にある「東京都予算への要請行動」を6月24日に、例年のように前もってレクチャーを行い、準備を整えて、13名の常任幹事が、都庁会議室において、九一日を掛け、東京都6局に対して「総会」で採択された「活動方針」に添った要望項目を全力で訴えてきました。

特に透析医療費の心身障害者医療費助成制度の堅持・継続と福祉施策の後退阻止、そして、都立病院公社化、民営化の中で「腎不全センター」設置の確約要請、それに献腎移植の推進等を強く要請しました。

また、7月5日には、中心的に加盟している「東難連」の都庁要請に東腎協として同行し、他の難病団体とともに、要請行動を行ってきました。

10月14日に都議会各会派には後述するように「都予算のヒアリング」の機会を得て、議員の方々に

私達の要望をしつかりと聞いていただきました。

政治に動いてもらうことは、大変難しく、時間もかかることだと思いますが、また、政治の力でしか、私達の望みが叶う方法が無いことも確かな現実であると思いますので、粘り強く、私達の現状と要望に理解が得られるよう、努力を重ねていくことが大切な活動だと信じます。

このように、私達透析患者が心から望む「医療や福祉の安定と向上」、「命と暮らしを守る」という理想を実現させるためにも、政治や行政への訴求力を高める必要があります。それには組織率の向上、会員拡大が絶対的条件になってくるように思われます。

#### 活動方針案の5項、東京都各局への予算要請項目の内容 〈福祉保健局〉

##### ＜前健康局＞

1. 糖尿病性腎症からの透析患者を増やさないため、糖尿病性腎症の知識普及や予防・管理体制を強化、推進してくだされい。

2. 慢性腎炎患者からの透析導入

への移行を少なくするために知識普及や予防管理体制を強化、推進して下さい。

3. 腎臓移植体制を強化し、特に献腎移植の普及を推進して下さい。

4. 臓器移植推進のため、臓器移植コーディネーターの増員を実現して下さい。

5. 透析施設間ネットワーク化や通院の確保など地震などの災害時における緊急透析治療体制を早急に確立して下さい。

6. 島しょにおける透析は、看護師・臨床工学技士などの医療スタッフの確保を図るとともに診療内容を充実させて下さい。

大島腎友会からの要望事項を付け加えた。島の問題として専門医が居ないということと緊急時の対応はどのようにしたら良いのかということとで、透析専門医の配置をお願いしたい。また、緊急時は都立大久保病院に搬送されていたが、公社化されたために、他の都立病院で、対応をしていただいた。

7. 乳幼児をはじめとする児童、生徒、学生、勤労者、家庭婦人、自営業者などに対する検尿を完全実施し、受診率の向上に努め、その後の管理体制を確立して下さい。

8. 看護師や臨床工学技士などの医療スタッフの増員・確保をして下さい。

9. 透析施設内における感染防止策・医療事故防止策の指導を徹底して下さい。

10. 透析施設に対し、患者本位の治療に努めるよう指導して下さい。

11. 医療費助成制度等の継続を堅持して下さい。

12. 日曜日、夜間の病変、救急、緊急時に対応できる透析施設を確保して下さい。

1. 心身障害者医療費助成制度を堅持、継続し、老人保健法に準拠している患者負担の見直しを検討して下さい。

2. 心身障害者福祉手当の支給要件を改正前に戻して下さい。

3. 「福祉」の町づくりは順調に進行していますが、その計画がより着実に進むよう予算の確保に努力して下さい。

4. 要介護透析患者や合併症を持った透析患者のより進んだ対策を進めて下さい。

5. 介護保険制度で透析患者の移送サービスを実施して下さい。

6. 障害者、難病患者に対する民間バスの無料乗車券の発行を要望して下さい。

6. 江東高齢者医療センターは高齢者透析患者のための透析室を拡充、充実して下さい。

7. 老人医療センター内に高齢者腎不全センターを設置して下さい。

注・2004年度8月1日より健康局と福祉局は合併され「福祉保健局」になりましたが、予算要望行動は6月24日に行ったので各2局に要望させていただきました。

《病院経営本部》

要望 都立病院の統廃合、地域病院化、公社化、民営化の方針の再考をし、東京都の直営を守り通して下さい。

1. 腎医療を東京都の行政医療として位置付けし、すべての都立病院に腎外来を設置し外来透析及び夜間透析を実施して下さい。

2. 大久保病院は腎不全センター

の機能を堅持し、合併症、特に整形外科系の合併症に対応できるように充実して下さい。

3. 豊島病院の今後の方向如何に問わず糖尿病からの透析治療を中心とした腎不全センターの設置をして下さい。

4. 府中病院については、透析室を拡充、充実して下さい。

5. 感染防止、医療事故防止の指導を強化して下さい。

6. 患者本位の治療の徹底を指導して下さい。

7. 看護師や臨床工学技士などの医療スタッフを確保して下さい。

《教育庁》

1. 学校検尿による腎臓病の早期発見と予防、管理を徹底して下さい。

《総務局》

1. 東京都職員の障害者雇用率のアップと人工透析患者を東京都職員に採用して下さい。

2. 地震災害に備え近隣県との「透析ネットワーク」を構築し「患者移送体制」と「緊急透析治療体制」を早急に確立して下さい。

《産業労働局》

1. 東京都職員は腎不全センター

の機能を堅持し、合併症、特に整形外科系の合併症に対応できるように充実して下さい。

2. 豊島病院の今後の方向如何に問わず糖尿病からの透析治療を中心とした腎不全センターの設置をして下さい。

1. 腎臓機能障害者の雇用促進を東京労働局に働きかけて下さいます。

2. 透析患者や障害者の就業者の中に「モラルハラスメント」を受け、うつ病にかかり、休職、退職に追い込まれるケースがありますが、その実態調査ならびに救済処置のご検討をお願いします。

注、「要望項目」への回答は「東腎協 No.155 (10月末発行)」で、詳しく報告しました。

都議会各会派への来年度予算要請  
都議会の各会派である東京都議会自由民主党、都議会公明党、日本共産党東京都議会議員団、都議会民主党、生活者ネットワークに対して、昨年10月14日午前9時30分午後3時30分という時間帯に2005(日・17)年度東京都予算要望を行いました。

前もって9日にレクチャーを開催し、ヒアリング時間の短さを考慮して、要望項目の中から重要項目を選び、さらに発言担当項目を絞り、担当者を決めて、発言の準備をしたため、都民の代表である都議会諸議員に透析患者の実情を理解いただけたのではないかと思

います。災害対策等に強力な指導力を発揮していただくようにお願いしてきました。その後、自民党、民主党から三多摩地区における災害対策の取組みについての詳しい資料の要請があり、対応しました。

6. NPO東難連をはじめ目指す目的や要望が一致する他の団体とともに医療、福祉を守る運動を展開します。

東難連は昨年度NPO法人化を成し遂げ、11月からは東京都の難病者支援センターの委託を受け本格的開設となりました。副理事長に田中常任幹事が参加して、常に運動の連携を深めています。

東京・無年金障害者をなくす会には2001年7月5日に9つの地方裁判所に学生無年金障害者が提訴して以来、東腎協も渡辺前会長が運営委員として参加し、活動に協力してきました。東京地裁において3月24日「昭和60年法制定は違憲」という判決が出ました。

また、この10月28日の新潟地裁でも、「20歳以上の学生を国民年金の強制加入から除外し、それを長年放置(立法不作為)したこと

は不合理な差別にあたると憲法第14条違反」との判決を下し、一人あたり700万円の賠償の支払いを国に命じました。その判決の影響もあり、11月10日付け朝日新聞に「無年金障害者救済法案」成立、与野党合意」との記事が掲載されました。原告に透析患者はいなかったのですが、勝利を勝ち取ることができました。

私達の、無年金の障害者をなくしたいという願いについては国側の控訴等もあり前途困難ですが、行政の措置としてこの4月1日からは救済法で第一歩を踏み出したと言えるでしょう。この会には田中常任幹事と井上信義常任幹事が参加しています。

反対連絡会」に常任幹事会の承認を得て加入し、団体署名をし、この12月15日の「緊急院内(衆議院第2議員会館)集会」には榎原会長が出席しました。

「東京の保健・衛生・医療の充実を求める連絡会」とは都立大久保病院の公社化後の情報収集などで連携しました。また、東京都行政の新たな民間委託の組織運営方式PFI方式・ブライバート・ファイナンス・イニシアティブ:「民間資金等の活用による社会資本整備」と訳されますが、その説明会に参加して学習してきました。

「腎臓サポート協会」とは、代表の松村満美子さんに「第16回腎臓病を考える都民の集い」に続き、'05年2月20日に開催された「第17回腎臓病を考える都民の集い」の司会を担当していたが、有意義なパネルディスカッションが盛り上がりしました。

ホームページは東腎協とリンクして、お互いに腎臓病患者のために情報を提供して来りました。

7. 全腎協、臓移連等と連携し「腎臓移植」の普及推進運動を進めます。

今年度の臓器推進移植キャンペーンは第24回となりますが、当初の予定10月3日は実施して以来、初めて悪天候となり、11月21日に延期となりました。事務局は広報作業に忙殺されましたが、連絡不足の点もありました。

延期により上野公園の使用許可等東京都福祉保健局疾病対策課に毎年のことながら、協力を得ました。田原課長に数寄屋橋、上野の2ヶ所でごあいさつをいただきました。

今年度は最初から、4つのプロジェクトを北部・東部は上野公園、中部・多摩部は数寄屋橋公園に集中して実施する予定でした。銀座では臓器連と連携して銀座パレードをする予定でしたが延期して実施した11月21日には臓器連は東京女子医大あけぼの会、腎移植者グループが参加して、臓器移植ネットワークと全腎協のパネルセッションと意思表示カード2枚、ティッシュをつめたノベルティの配布をライオンズクラブ、北里大学看護大学グループ、東京肝臓病友の会、胆道閉鎖症の子どもの守る会の協力の下行いしました。総参加者数は143人でした。

また、統一実施日でなく、江戸川区腎友さつき会、NPOさくらの会、江東腎臓病を考える会、町田市腎友会、江東区難病団体連絡会でそれぞれ意思表示カードを配布しました。

臓器移植の実際は日本臓器移植ネットワークによると登録している腎臓移植希望者数が2004年の12月末までは、1万2324人で、移植数は173例です。その内臓死移植者は6例です。腎臓移植は脳死でなくても可能なことの理解を進め、移植数を増やしていく努力が必要です。

8. 「臓器移植意思表示カード」の普及推進については「健康保険証」に添付するなど有効な運動を進めます。

7. で述べたように移植推進に力を尽くすためには意思表示カードの普及が大切です。キャンペーンにおいては30,000枚を配布しました。

1998年11月にはカードと同じ文面のシールが前厚生省により作成され、運転免許証や健康保険証には、意思表示シールを貼るス

ペースが作られています。また、本体への印刷・記載はされていません。また、移植症例数も臓器移植法が1997（平成9）年10月に施行されてから7年を過ぎましたが、昨年までの脳死移植は12月末でわずか31例です。この他、移植法を改正して移植を進めるために、臓器連に協力して署名運動を展開し全国では52万6000人を集め、会員皆さんが協力してくれたおかげで東腎協でも2万1891人を集め、全腎協を通じて臓器連へ提出しました。臓器連の国会請願行動はこの2月17日に行われ、東腎協からは榊原会長はじめ9人が参加しました。

今後全腎協、臓器連とともに、有効な方法を求めて運動していく必要があります。

## 9. 透析施設との信頼関係を前提の要望事項として

(1) 患者会への正しい理解を深めてもらい、相互信頼を高め、よりよい透析環境の実現を

主に日常の相談業務の中で、透析施設との関係で悩みがある事例

に東腎協の立場としてできる範囲でアドバイスや最寄りの施設の紹介をしてきました。また、患者会への理解を深めるために、会員拡大の意味も含めて新施設訪問を行ったり、新患者会設立総会への出席や、既存患者会への総会・新年会への出席など、努力してきました。また、相談事例の中で運動として、決議機関へ提案するべき問題は常任幹事会へ提案し、討議を経て承認されれば、全国組織である「全腎協」の理事を経由して全国的問題として、取り上げるように対応してきました。

## (2) 各施設の災害対策の確立を

災害対策委員会は以下の活動をしてきました。

6月26日 今期の災害対策委員の7人で話し合い、「自分の身は自分で守ろう」をテーマに東腎協機関誌に毎回、災害対策に関する記事に記載することを決定しました。編集委員会と協力して「東腎協」No154（7月発行）11ページに「災害意識調査の報告」を、また、No156（1月末発行）16ページに「新潟中越地震を検証して」を

掲載しました。

10月24日 吉祥寺あさひ病院腎友会、木下委員長が「備えあれば憂いなし」のテーマで災害対策の講義を行いました。付記すれば前日の23日に新潟中越地震が発生しました。

11月19日 東京都総務局総合防災部防災対策課訪問。東京都の災害時に対しての動向を聞きまし

た。防災センター体験を予定していましたが、日程が合わず今後の課題となりました。今年度は特別な活動は少なかったと思います。

日本列島は地震、台風等自然災害に襲われ、予想外の甚大な被害を発生させました。我々は日々の備え、心構えがいかに大切かを教えられました。災害対策委員会もその方向に目を向けて活動してまいります。

- (3) 感染防止、医療事故、医療ミス防止への努力を
- (4) 医療スタッフの確保、充実への努力を

(5) 患者本位の治療を

施設に対して直接のお願い文などの活動はしてこなかったが、この3項目については昨年6月24

日東京都予算要請で東京都各局行政の健康局に対して8、9、10の各項目で要請し、病院経営本部の項で5、6、7、で強く要請しました。

また、10月14日(木)に東京都議会各会派に対して来年度予算ヒアリングの場において施設透析に対しての指導強化をお願いしました。

## 10. 通院移送サービスの各地域単位での立上げを支援します。

東腎協には現在地域腎友会として荒川区腎友会、江戸川区腎友会、江東腎臓病を考える会、町田市腎友会の4つがあります。通院移送サービス組織は地域腎友会が発展して、NPO法人格を取得し、活動している三団体があります。NPOさくら会の会、NPOすずらん会の会、NPO難病者移送サービスネットワークです。

東腎協は昨年8月1日に移送サービス団体を含めた地域腎友会交流会を開催して情報交換の場を提供しました。以下、地域腎友会と通院移送サービス組織からの報告です。

1) 荒川区腎友会は荒川区心身障害者福祉連合会での取組みについて説明がありました。障害者事業団の設立、障害者の社会参加、就労問題への取組み、障害者センター内の喫茶店でのボランティア活動、障害者スポーツ指導員による「透析患者のためのストレッチ体操教室」の開催、区行政に対する災害時対策の要請行動を行いました。

### 2) 江戸川区腎友会

さつき会の活動の柱は江戸川区と共催の「腎機能障害者向け医療講演会」、区民祭りでの臓器提供意思表示カードの配布による臓器移植の推進、会員親睦のための「日帰りバス旅行」の3つの行事ですが、前会長の原会長亡き後も、会員皆様のご支援とご協力により、また役員一同が一人となつて協力し、有意義な活動にすることができました。

講演会では東腎協でもお馴染みの板橋中央総合病院の赤松先生を招いて、シャントトラブルと最近増えていると言われている閉塞性動脈硬化症について話していただき、大変に貴重であることになる講演となりました。

区民祭りでは腎臓病の予防を区

政レベルでも推進するために、腎臓病や糖尿病の予防のパンフレット作成し配布を試みました。また、行政に対しても、健康部部長と面談し腎臓病の予防の推進をお願いしました。また、新潟中越地震を受けて、防災課長と災害時の透析医療の確保について話し合いを行いました。また、区議会の各会派にも同様の訴えを行いました。

### 3) 江東腎臓病を考える会

現在、抱えている諸問題として、地域腎友会の組織率の低迷化、行政問題、医療の後退、医療サービスの民営化等の訴えの後、年間活動の報告がありました。また、本年度で15周年を記念しての記念誌の発行事業、家族会員の増員計画についての発表もありました。

### 4) 町田市腎友会

1999(平成11)年11月の地域腎友会設立に向けた活動から、2004(平成16)年第4回総会までの経緯の報告がありました。今年度は市議会に案内を発送し、7名の市議会委員に参加いただくなどの新しい取組みをしました。10月10日には臓器移植キャンペーンをカリヨン広場で実施しました。また、本年度の活動の中心であ

る災害対策については11月に町田市長宛要望文を提出し、12月の平成16年度第4回町田市議会定例会において、2議員からの災害時における透析医療対策の質問を実現しました。市側との話し合いから健康づくり調理実習を開催することができました。

5) NPOさくらの会は活動の要(カナメ)である通院支援、通院介護事業の現状、障害者団体としての地域活動への貢献として、いたばしボランティアフェスタ2004、「第22回ふれあい祭」の参加状況、機関紙の発行など報告しました。内容は、全腎協、東腎協の機関誌では取り上げられないような、初心者向けの記事他、ベテラン患者の知恵なども掲載するようになっていることでした。また、問題点として通院支援事業の利用者の大半が各病院の腎友会からの紹介ではなく、ケアマネジャー、ケースワーカーからの紹介で、腎友会に加入していない利用者も多いということでした。

6) NPOすずらん会の会  
7) NPO難病者移送サービスネットワーク

この2つの団体は出席できませ

んでしたが、NPO法人として透析患者のみならず、当事者が要介護者を移送するという貴重な運動団体として活動を続けています。新しく地域腎友会を設立する動きは足立区で在任の常任幹事と幹事を訪問して行政担当者と話をしてしました。移送サービス団体の新設組織についてはNPO通院移送センター「タンポポ」から全腎協への助成金申請依頼がありました。

## 11. 事務局体制、財政対策について基本的見直しを検討していきます。

年度当初4月30日に事務局会議を実施して現有職員での事務局体制を決めました。人員の配置だけでなく、CAPDの治療により週5日勤務できる小関事務局次長の入局により、曜日間の連絡を密にし、事務協体制の強化に結びつけるよう意思統一しました。

また、財政面では従来から心掛けてきたことですが、無駄を省き会費によって成り立っている東腎協の運営を認識して、活動に役立てることを先決にする姿勢を貫くことを再確認しました。

下半期に入り会員拡大が思うように進まず会員の減少が顕在化してきて、年が明けてすぐ拡大3役会を開催し三役はもちろん各プロック長、委員長の9人が参加して、NPO問題と財政緊縮を会計からの現状報告の元に討議しました。また、2月1日には緊急三役会を召集し、来期に向けて事務局体制と役員人選について財政を絡めて検討しました。

11月にNPO法人化が認証された場合に伴っての対応も検討しましたが、来期に向けて会員減少による会計規模の縮小もあり、専従の増員は見送り、アルバイトの待遇を確保しました。なお、法人化後の就業規則の作成など着手してきました。

12. 機関誌「東腎協」の定期発行を守り内容の検討と充実を計るとともに、会員の皆様の必要とする情報をタイムリーに伝達するための「東腎協ニュース」を随時発行していきます。

編集委員会は昨年3月発行のNo.152「議案集」に始まり年4回表紙カラー・A4判・中身24・28ページの機関誌の定期発行の継続

を実現しています。また、昨年2月に行われた「腎臓病を考える都民の集い」の「都民の集い報告集」を発行しました。

会報サイズをA4版にしてから、「ぜんじんきょう」と似ているとの意見もありましたので、初代東腎協編集長、加藤茂氏による、絵手紙の技法を用いた季節感あふれる絵を表紙として衣替えしました。一目見て東腎協会報と分かっていたけれどと自信を持っています。

その他、試みとして、「かんたんクッキング」で、料理の写真をカラーとして、美味そうに感じてもらえるよう工夫しました。また、会員の透析30周年を記念して、年に引き続き、新年号裏表紙に、氏名を記載しました。会員全員でその喜びを分かち合えば、後に続く会員の励みにもなります。

一人でも多くの会員に会報に興味を持ってもらえるよう、総会スナップもカラーで載せました。今年も実行予定です。撮影にご協力ください。

特集では、東腎協の活動の柱である「都庁要請」の一日をドキュメンタリー風に特集として掲載しました。毎年行われている都庁要

請を、会員皆様に具体的にご理解いただく努力を続けます。

機関誌については毎号発行ごとに事務局で打ちあわせ会を開き、校正は3校までとして、誤字等を内容刷新については次年度の課題として残りました。

これからも一人一人の会員のお手元に届く、東腎協と会員との唯一の絆である機関誌を、読みやすく、ニーズにあったものにしていくよう努力していきます。また、双方向の会報をめざします。

東腎協ニュースは第6号を8月に発行、NPO問題の説明をわかりやすく掲載して、患者会での揭示により、有効に役立ちました。

### 13. 青年部の育成、充実を計り、青年層の会員拡大により東腎協の底辺の広がりにつなげます。

青年部は5月から月1回のペースで糸賀相談役を講師として、青年部幹事を中心に勉強会を開始しました。この勉強会の目的は、東腎協を担う役員の育成と青年部員が社会、福祉の知識を得て、質問等あった時には答えられるよう

にしておこうというものです。福祉、年金等複雑で難しいことが多いですが、青年部幹事一人一人が意欲を出し今後とも継続していきます。

6月27日午後2時より南大塚社会教育会館にて青年部第1回交流会として座談会を開催しました。参加者19名と少なめでしたが、その分じっくりと話すことができました。座談会は2グループに分かれさまざまな話し合いが行われ有意義な1日となりました。

2005（H・17）年2月27日（日）には中野サンプラザで青年部毎年恒例のボーリング大会と食事会を行います。

活動方針を実現するために東腎協は規程に則り、以下の活動・会議を開催してきました。

#### 1. 第32回総会

昨年4月18日に第32回総会と記念講演が東新宿の東京社会保険会館（東京フィオーレ）大ホールロームにおいて開催されました。患者会の宿命であるといえ、この1年間に逝去された会員・役員に黙祷を捧げました。参加人数

は2338人でした。

来賓は国会参議院日本共産党小池見議員をはじめ（社）全腎協副会長 栗原純隆さんと多くの議員と関連団体の方、合わせて8人の方々が出席しました。

活動方針はNPO法人格取得に向けた活動と会員拡大とを重要項目として承認を受けました。また、役員には榊原会長をはじめとして立候補者全員が承認されました。大きなことは20年という長きにわたり事務局長の重責を担っていた森常任幹事が勇退したことでした。事務局次長には木村事務局次長が就任しました。また、新たに事務局次長には5日勤務できる小関常任幹事が就任しました。

記念講演は国立国際医療センター 腎臓内科医長・斉間恵樹先生による①腎不全における動脈硬化予防法の模索②途上国腎疾患医療の現状と題してのもので、尿酸が透析患者にとって重要な医療的価値をもつことも教えられました。

#### 2. 常任幹事会

主な活動記録にあるように、8月をのぞく毎月日曜日に1回東腎協の執行部として、活動方針を实

現するために会議を開催してきました。時には午前から開催し6時になることもあるハードな役目です。また、その時々状況から来る全腎協の動員要請に対応し、他団体との諸関連活動に参加するなど、役員も患者ではあるけれど、会長を筆頭に鋭意努力してきました。

常任幹事会以外の日曜日活動が多く、今後NPO法人化の後には理事としての任務を担える人を増やすようにしていく必要があります。

また参考になる意見をいただく機会として3回の相談役会も開催しました。

#### 3. 幹事会と学習交流会

第32回総会に先立ち昨年3月21日には弘済会館4階「萩」で第52回幹事会を開催しました。総会に提案する議題について討議して、承認を得ました。参加者は116人でした。

また、昨年9月26日（日）には第53回幹事会を東京都障害者福祉会館で開催し、上期の活動報告の承認を取り、下期の活動予定を説明しました。午後は学習会として「透析患者の災害対策」行政、施

# 二〇〇四年度主な活動記録

## 2004年3月

- 1 全腎協国会請願紹介で議員会館訪問
- 3 東京都病院経営本部係長来局
- 4 臓移連国会請願署名行動
- 5 「ぜんじんきょう」No.202 送付作業
- 7 第283回常任幹事会開催
- 9 国立国際医療センター斎間先生訪問
- 11 東京・無年金障害者をなくす会(以下「無年金の会」と記す)国会陳情
- 13 全腎協総会
- 17 桜台クリニック会長、幹事面談
- 21 第52回幹事会開催
- 24 学生無年金障害者裁判判決判決傍聴
- 25 災害対策アンケート作成
- 29 国会請願署名行動参加
- 31 「東腎協」No.152 送付

## 2004年4月

- 1 災害アンケート票集計
- 4 編集委員会
- 5 第284回常任幹事会開催
- 5 総会議案集を都庁各局、都議会各政党に持参
- 10 全腎協理事會
- 11 NPO法人さくらの会総会出席
- 16 東京都障害者団体連絡協議会出席、無年金役員会
- 17 障都連総会
- 18 第32回総会、青年部会議
- 21 無年金の会国会請願、厚生委員会傍聴
- 23 都庁健康局訪問、都議会自由民主党・共産党挨拶訪問
- 30 事務局会議、各県総会メッセージ送付

## 2004年5月

- 2 新常任幹事説明会、三役会
- 8 青年部勉強会

## 2004年6月

- 6 NPO勉強会、ブロック長会議、東難連総会、JPC総会、移植勉強会
- 7 JPC国会請願
- 8 臓移連の国会陳情出席
- 9 都庁予算要請文持参
- 12 中南部ブロック常幹会議
- 13 運営委員会
- 14 第286回常任幹事会
- 16 堀相談役急逝
- 20 都庁予算要請レクチャール
- 26 災害対策委員会
- 29 第285回常任幹事会
- 12 予算要請の件で都庁訪問
- 15 無年金の会役員会
- 16 編集委員会、相談役会
- 19 都庁予算要請文各局届け
- 22 全腎協総会
- 22 全腎協大会in長野
- 29 東部ブロック常幹会議
- 31 板橋中央病院赤松先生訪問

## 2004年7月

- 3 全国事務局長会議
- 4 第287回常任幹事会
- 7 日野市議会議員と懇談
- 8 身体障害者福祉会館2004年度下期定期使用申込
- 9 「ぜんじんきょう」No.204 送付作業
- 10 11「関東ブロック栃木」参加
- 18 東部ブロック幹事交流会
- 24 組織対策委員会
- 24 青年部勉強会
- 24 全腎協理事研修会
- 28 臓移連署名整理、「東腎協」No.154 送付作業
- 31 8/1 関東ブロック青年交流会in山梨
- 29 栗原全腎協副会長、藤原理事来局
- 26 27 青年部勉強会
- 27 全腎協理事會
- 27 北部ブロック幹事・役員交流会、多摩ブロック幹事・役員交流会、編集委員会
- 27 第1回青年部交流会

2004年8月

6 「ゼンジンきょう」 No.205 送

害時伝言ダイヤル説明書患者会宛発送

1 入会案内校正

24 民主党長島裕久・西村智奈美

25 議員訪問、災害対策委員会

27 28全腎協理事會

28 拡大NPO委員会、三役会

2004年12月

4 共同テレビ、ビデオ収録

4 5 第56回関東ブロック会議

5 障害者ふれあいフェスティバル参加

7 日本移植者協議会鈴木会長大

8 久保理事長、北見関東甲信越

9 支部長全国移植者スポーツ大

8 会の件で来

8 八王子医療センター訪問

9 足立区役所地域腎友会の件で

10 訪問

10 NPO設立の件で都庁生活文

11 化局訪問、青年部打合せ

11 八王子みなみのセントラルク

12 リニック神尾看護師長、大貫

12 事務長来局

11 共同テレビ、ビデオ撮影

11 MXテレビ収録

12 組織対策・ブロック長会議

13 三役予算会議

13 都議会傍聴(多摩八王子医療

センター公社化採決)

13 センター公社化採決)

11 青年部勉強会

12 第288回常任幹事会

15 無年金の会役員会

16 都庁各役所・各局訪問

18 葛飾区役所訪問

18 一都三県組織対策委員会

19 相談役会

25 第53回幹事会、青年部幹事会

2004年10月

1 東難連開所式出席

4 5 全腎協理事會

5 緊急三役会議

9 組織対策・患者会サポート合

9 同委員会、東京都各政党ヒア

12 リング・レクチャー

12 東難連都議会各会派予算ヒア

14 リング

14 '05年度東京都予算都議会各会

17 派ヒアリング

17 NPO法人格取得の件で都庁

17 生活文化局へ相談

17 編集委員会

17 第289回常任幹事会

17 青年部関東ブロック交流会会

22 20 場下見

22 八王子医療センター訪問

22 国会請願署名用紙とNTT災

2004年9月

1 第7回地域腎友会交流会

3 東京都庁へ福祉局と健康局合

3 併のあいさつとキャンベーン

3 共催依頼提出、都議会各会派

3 へ来年度予算ヒアリング依頼

3 提出、小泉相談役逝去

8 NPO検討委員会、実態調査

19 打合せ、ブロック長会議

19 ライオンズクラブ横山氏キャ

21 ンベーン協力の件で来局

21 青年部勉強会

22 第3回編集委員会

24 林先生「集い」の件で訪問

25 無年金の会役員会

27 上期活動報告作成

28 腎臓移植キャンベーン準備

28 患者会サポート委員会

28 全腎協青年交流会inだい

29 せん

29 運営委員会、第53回幹事会・

29 学習交流会実行委員会

29 多摩ブロック学習交流会

29 臓移連請願署名全腎協へ発送

2004年9月

3 無年金の会役員会

4 5 全腎協第52回理事會

5 中南部幹事交流会

- 14 病院経営本部PFI説明会  
「東京の保健・衛生・医療の充実を求める連絡会」出席
- 15 第3・4種郵便料金について緊急院内集会参加  
エコライズ様来局、
- 16 青年部勉強会
- 18 第291回常任幹事会
- 19 博慈会記念病院分院訪問
- 28 2005年1月
- 5 都庁新年挨拶回り  
清瀬園興水さん来局アンケート打合せ  
「ぜんじんきょう」No206発送
- 8 青年部勉強会  
拡大三役会
- 9 東京肝臓友の会事務局長天野氏来局  
厚労省交渉
- 13 全腎協理事會  
第292回常任幹事会
- 15 製薬協患者会セミナー参加  
相談役会
- 22 都庁訪問
- 23 中南部交流会
- 30 2005年2月  
三役会議

- 5 '04年度・日本障害者センター「支援費・介護保険セミナー」、「徹底検証！改革のグラントデザイン案」出席  
菊川橋クリニック腎友会新年会出席
- 6 青年部勉強会
- 12 第293回常任幹事会
- 13 臓移植連国会請願署名行動
- 17 第17回腎臓病を考える都民の集い
- 20 第14回全国移植者スポーツ大会第1回実行委員会出席  
金町ロイヤルクリニック訪問  
町屋駅前クリニック5周年記念総会出席、青年部ボーリング大会&新年会

## 東腎協の「特定非営利活動法人」(案)の概要抜粋

I、名 称 特定非営利活動法人 東京都腎臓病協議会 (NPO東腎協)

I、目 的

- (1) 腎臓病に関する正しい知識の普及と予防を図るための事業
- (2) 腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図るための政策提言等

I、事業の種類

(1) 特定非営利活動に関わる事業

- ① 腎臓病に関する知識の普及と予防などを促進する事業
- ② 腎臓病患者の医療体制の充実を図る事業
- ③ 腎臓病患者の自立を支援するための相談事業
- ④ 腎臓病に関する調査研究と政策提言事業
- ⑤ 福祉移送の支援事業
- ⑥ 腎臓病患者の食事療法に資するための低タンパク米の提供事業
- ⑦ そのほか

(2) その他の事業

- ① 広告掲載事業

I、会 員

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した、議決権を有する個人及び団体
- (2) 一般会員 この法人の目的に賛同して入会した、議決権を有しない個人及び団体
- (3) 賛助会員 この法人の目的に賛同し、賛助するために入会した個人及び団体

I、会 費

- |              |    |                    |
|--------------|----|--------------------|
| (1) 正会員の年会費  | 個人 | 1人当たり 年額5,400円     |
|              | 団体 | 構成人員×1人当たり年額5,400円 |
| (2) 一般会員の年会費 | 個人 | 1人当たり 年額5,400円     |
|              | 団体 | 構成人員×1人当たり年額5,400円 |
| (3) 賛助会員     | 個人 | 1人当たり 年額5,000円     |
|              | 団体 | 年額1口10,000円        |

I、総会の開催

- |      |                     |
|------|---------------------|
| 通常総会 | 毎年1回開催する            |
| 臨時総会 | 定款に定める要項により要請があれば開催 |

I、事業年度

毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる

# 2004年度収支計算書

自2004年3月1日～至2005年2月28日

## I. 収入の部

(単位 円)

| 科 目        | 予算額        | 決算額        | 差 異        | 備 考                   |
|------------|------------|------------|------------|-----------------------|
| 1.会費収入     | 37,260,000 | 35,811,040 | △1,448,960 | 上期 6,619人 下期 6,538人   |
| 2.寄付金収入    | 700,000    | 2,147,788  | 1,447,788  | 松村様 竹内様 扶桑薬品、鶴田クリニック他 |
| 3.募金収入     | 3,000,000  | 2,800,087  | △199,913   |                       |
| 4.協賛金収入    | 0          | 330,000    | 330,000    | エルビス、ベーター食品           |
| 5.事業収入     | 1,500,000  | 1,770,355  | 270,355    |                       |
| ①会報等頒布収入   | 100,000    | 42,400     | △57,600    | 調布東山クリニック             |
| ②広告収入      | 1,250,000  | 1,540,000  | 290,000    | 機関誌『東腎協』広告掲載料         |
| ③物品販売収入    | 70,000     | 115,600    | 45,600     | 全腎協取り扱い品還元金他          |
| ④資料印刷代収入   | 80,000     | 72,355     | △7,645     |                       |
| 6.預金利子     | 3,000      | 1,718      | △1,282     |                       |
| 7.雑収入      | 100,000    | 108        | △99,892    |                       |
| 8.特別会計繰入   | 0          | 0          | 0          |                       |
| 合 計(A)     | 42,563,000 | 42,861,096 | 298,096    |                       |
| 源泉預り金、前受け金 | 0          | 5,561      | 5,561      |                       |
| 前期繰越収支差額   | 22,394,441 | 22,394,441 | 0          |                       |
| 収入合計(B)    | 64,957,441 | 65,261,098 | 303,657    |                       |

## Ⅱ. 支出の部(1)

(単位 円)

| 科 目                    | 予算額                | 決算額               | 差 異                | 備 考                   |
|------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-----------------------|
| <b>事業費</b>             |                    |                   |                    |                       |
| 1. 腎疾患対策事業費            | 2,500,000          | 2,423,610         | 76,390             | 全腎協納付金、都民の集い経費        |
| 2. 腎移植推進事業費            | 800,000            | 573,238           | 226,762            | 臓器移植推進キャンペーン費用        |
| 3. 交流事業費               | 800,000            | 290,914           | 509,086            | ブロック交流会、学習、地域、個人交流会   |
| 4. 青年部事業費              | 400,000            | 275,038           | 124,962            | 交流会補助                 |
| 5. 会報発行事業費             | 4,450,000          | 4,339,041         | 110,959            | 会報発行費用                |
| ①印刷費                   | 2,800,000          | 2,976,330         | △176,330           | 4色7,500部              |
| ②編集費                   | 450,000            | 235,374           | 214,626            |                       |
| ③発送費                   | 1,200,000          | 1,127,337         | 72,663             | 『ぜんじんきょう』『東腎協』発送費     |
| 6. 組織対策事業費             | 300,000            | 172,750           | 127,250            | 入会のしおり                |
| 7. 災害対策事業費             | 50,000             | 3,400             | 46,600             | 会議費                   |
| 8. メディア事業費             | 220,000            | 252,740           | △32,740            |                       |
| ①インターネット・HP維持費         | 200,000            | 239,910           | △39,910            | メール接続料、HP使用料・維持作業料    |
| ②声の会報                  | 20,000             | 12,830            | 7,170              | カセットテープ               |
| 9. 会議費                 | 2,900,000          | 2,794,609         | 105,391            |                       |
| ①総会費                   | 1,500,000          | 1,517,155         | △17,155            |                       |
| ②役員会費                  | 700,000            | 647,294           | 52,706             | 幹事会・常任幹事会交通費、会場費      |
| ③全腎協関係費                | 500,000            | 412,350           | 87,650             | 全腎協大会・関東ブロック補助        |
| ④その他会議費                | 200,000            | 217,810           | △17,810            | 各委員会、実行委員会            |
| 10. 事業分担金              | 12,574,000         | 11,989,000        | 585,000            |                       |
| ①全腎協分担金支出              | 12,420,000         | 11,842,200        | 577,800            |                       |
| ②東灘連分担当支出              | 134,000            | 134,000           | 0                  | 6700人 @20             |
| ③その他の分担金支出             | 20,000             | 12,800            | 7,200              | 障害者団体定期刊行物協会          |
| 11. 事業行動費              | 1,500,000          | 766,260           | 733,740            | 役員行動費                 |
| 12. 物品購入費              | 50,000             | 0                 | 50,000             |                       |
| 13. 実態調査費              | 1,500,000          | 952,488           | 547,512            | 集計費用                  |
| <b>事業費合計</b>           | <b>28,044,000</b>  | <b>24,833,088</b> | <b>3,210,912</b>   |                       |
| <b>管理費</b>             |                    |                   |                    |                       |
| 1. 人件費                 | 8,890,170          | 8,468,047         | 422,123            |                       |
| ①給料                    | 6,067,000          | 5,876,000         | 191,000            | 専従3名給料                |
| ②退職積立金                 | 228,000            | 228,000           | 0                  | 専従2名                  |
| ③アルバイト料                | 2,145,170          | 1,910,240         | 234,930            | 3名                    |
| ④保険料                   | 150,000            | 140,457           | 9,543              | 障害者保険料、労災保険           |
| ⑤通勤交通費                 | 300,000            | 313,350           | △13,350            | 専従3名                  |
| 2. 管理経費                | 7,317,588          | 6,668,375         | 649,213            |                       |
| ①事務所管理費                | 4,137,588          | 4,137,588         | 0                  | 家賃、公益費、344799円        |
| ②光熱費・水道料金              | 350,000            | 306,624           | 43,376             | 電気・水道代、               |
| ③通信費                   | 1,300,000          | 940,488           | 359,512            | ヤマト便、電話、切手、はがき代       |
| ④備品費                   | 370,000            | 546,585           | △176,585           | 印刷機、コピー機、パソコンリース代     |
| ⑤事務用品費                 | 100,000            | 56,634            | 43,366             | パソコンカラーインク、感熱紙他       |
| ⑥新聞図書費                 | 100,000            | 68,820            | 31,180             | 都政新報、新日本法規出版          |
| ⑦印刷料                   | 800,000            | 465,232           | 334,768            | バファーマンスチャージャー、封筒、印刷用紙 |
| ⑧保険料                   | 10,000             | 9,720             | 280                | 火災保険                  |
| ⑨雑費                    | 150,000            | 136,684           | 13,316             | 市花、マット交換、ゴミ券他         |
| <b>管理費合計</b>           | <b>16,207,758</b>  | <b>15,136,422</b> | <b>1,071,336</b>   |                       |
| <b>予備費</b>             | <b>0</b>           | <b>0</b>          | <b>0</b>           |                       |
| <b>支出合計(C)</b>         | <b>44,251,758</b>  | <b>39,969,510</b> | <b>4,282,248</b>   |                       |
| <b>収支差額(A)-(C)</b>     | <b>△ 1,688,758</b> | <b>2,891,586</b>  | <b>△ 3,713,797</b> |                       |
| <b>次期繰越収支差額(B)-(C)</b> | <b>20,705,683</b>  | <b>25,291,588</b> | <b>△ 3,708,236</b> |                       |

# 正味財産増減計算書

自2004年3月1日～至2005年2月28日

(単位 円)

| 科 目         | 金 額         |            |
|-------------|-------------|------------|
| I 増加の部      |             |            |
| 1 資産増加額     |             |            |
| 退職給与積立預金増加額 | 228,000     |            |
| 保 証 金       | 1,515,600   | 1,743,600  |
| 増加額合計       |             | 1,743,600  |
| II 減少の部     |             |            |
| 当期収支差額      | △ 1,375,986 |            |
| 退職給与積立金増加額  | 228,000     | 1,147,986  |
| 減少額合計       |             | 1,147,986  |
| 当期正味財産増加額   |             | 2,891,586  |
| 前期繰越正味財産額   |             | 27,169,073 |
| 期末正味財産合計額   |             | 30,060,659 |

# 貸借対照表

2005年2月28日現在

(単位 円)

| 科 目            | 金          | 額          |
|----------------|------------|------------|
| <b>I 資産の部</b>  |            |            |
| 1 流動資産         |            |            |
| 現金預金           | 25,224,095 |            |
| 流動資産合計         |            | 25,224,095 |
| 2 固定資産         |            |            |
| 退職給与積立預金       | 2,030,000  |            |
| 什器備品           | 3,180,925  |            |
| 電話加入権          | 145,600    |            |
| 保証金            | 1,515,600  |            |
| 固定資産合計         |            | 6,872,125  |
| 資 産 合 計        |            | 32,096,220 |
| <b>II 負債の部</b> |            |            |
| 1 流動負債         |            |            |
| 前受け金           | 19,300     |            |
| 源泉預り金          | △ 13,739   |            |
| 流動負債合計         |            | 5,561      |
| 2 固定負債         |            |            |
| 退職給与積立金        | 2,030,000  |            |
| 固定負債合計         |            | 2,030,000  |
| 負 債 合 計        |            | 2,035,561  |
| 3 正味財産の部       |            |            |
| 正味財産           |            | 30,060,659 |
| 負債及び正味財産合計     |            | 32,096,220 |

# 財 産 目 録

2005年2月28日現在

|      | 科 目          | 金 額        |            |
|------|--------------|------------|------------|
| 資産の部 | 1. 流動資産      |            |            |
|      | 現金預金         |            |            |
|      | 現金           | 157,490    |            |
|      | 郵便振替         | 3,857,092  |            |
|      | 普通預金(東京三菱銀行) | 13,709,513 |            |
|      | 定期預金(東京三菱銀行) | 7,500,000  |            |
|      | 流動資産合計       |            | 25,224,095 |
|      | 2. 固定資産      |            |            |
|      | 退職給与積立金      | 2,030,000  |            |
|      | (南大塚郵便局)     |            |            |
| 負債の部 | 什器備品         | 3,180,925  |            |
|      | 電話加入権        | 145,600    |            |
|      | 保証金          | 1,515,600  |            |
|      | 固定資産合計       |            | 6,872,125  |
|      | 資 産 合 計      |            | 32,096,220 |
|      | 1. 流動負債      |            |            |
|      | 前受金          | 19,300     |            |
|      | 源泉預り金        | △ 13,739   |            |
|      | 流動負債合計       |            | 5,561      |
|      | 2. 固定負債      |            |            |
|      | 退職給与積立金      | 2,030,000  |            |
|      | 固定負債合計       |            | 2,030,000  |
|      | 負 債 合 計      |            | 2,035,561  |
|      | 正 味 財 産      |            | 30,060,659 |

# 備 品 等 一 覧

2005年2月28日現在

(単位 円)

| 購入日       | 品 名                     | 金 額       | 備 考     |
|-----------|-------------------------|-----------|---------|
| 1995.2.28 | シュレッダー リコー2211PT        | 103,000   |         |
| 1996.7.8  | 卓上型梱包機                  | 290,000   |         |
| 1999.1.20 | NEC製 ファクシミリ             | 257,250   |         |
|           | リコー製 印刷機                | 697,000   | 60ヶ月リース |
| 2000.1.17 | SHARP液晶カラーモニター          | 131,040   |         |
| 2001.9.10 | オートコレクター UC1000         | 249,950   |         |
| 2002.5.13 | ノートPC LATITUDE V710     | 203,280   |         |
|           | DELL製 PC Dimension43008 | 180,705   |         |
| 2002.7.26 | リコー製複写機 Neo2            | 623,700   | 60ヶ月リース |
| 2004.6.30 | NEC-17型液晶モニター           | 445,000   | 60ヶ月リース |
|           | 保証金                     |           |         |
|           | 信友大塚ビル6階事務所 25.26坪      | 1,515,600 |         |

## 2004年度会計監査報告書

私たち監査は、東京都腎臓病患者連絡協議会の2004年度の収支報告書、すなわち現金、銀行預金、元帳、現金出納帳等について監査し、その結果、すべての経理処理手続きは公正、妥当と認められました。

2005年3月28日

会計監査

瀬 賀 康 平 

同

大 場 邦 子 

# 二〇〇五(平成17)年度活動方針(案)

## (NPO法人格取得後は「事業計画」に移行)

2004(H・16)年度はイラク問題や北朝鮮拉致問題をはじめとするテロや紛争に明け暮れ、世界的に荒廃した世相を呈した一年だったように思われます。

また国内では近年になく種々の災害が多く発生した年であり、多数の罪無き人々の命が無慈悲に奪われる事件の多かった年でもありました。

そのような環境の中、私達透析患者に対する施策としては医療の面からも福祉の面からもここ数年に亘り、切捨てと後退が続けて断行されてきました。そのために将来の社会保障への不安と医療の質の低下する懸念が増大してきました。

また現在も、「障害保健福祉施策」いわゆる「改革のグランドデザイン案」が昨年10月に「社会保険審議会障害者部会」から示され私達障害者へ大きな影響を及ぼす

改悪が進められようとしています。

新年度に向けて会員の皆様に見るいニュースと希望の持てる展望を提示したいとの願いは後退してしまいました。この件は全腎協を中心として他の障害者団体、関係団体と連携・連帯し、力を結集して、改悪阻止の要請行動を起こすべきだと思います。会員の皆様の強力なご支援・ご協力が是非必要です。

本題の東腎協活動方針案の最重要提案はNPO法人(特定非営利活動法人)取得です。2年前から提案していますので、各腎友会でも種々の機会に議論と検討を加え、意思決定を済まされていると思います。

スケジュールは「第33回総会」で承認をいただき、6月の「設立総会」を経て、東京都へ「設立認証申請書」および必要書類を添えて設立認証手続きを行います。正

式な「認証」が決定されたら「設立の登記」をして「NPO法人成立」となります。

その認証が期待されるのが11月ごろです。それまでは従来の歴史ある東腎協の通常運営を行っていくこととなります。

以上のように今年度は東腎協の33年に亘る歴史の上に残る大きな変革を生む特別な年度であります。

このことを会員の皆様とともにしっかりと踏まえた上で、東腎協発足の活動の原点であった「命と暮らしを守る」を再確認しましょう。そして、厳しさを増す状況の中、透析医療や社会保障、社会福祉を守り抜く決意の下、心を一つに結集して2005年度の活動を進めていきます。

1. NPO法人(特定非営利活動法人)取得のために会員の総意の基、本総会において、承認を得た後、6月の設立総会を経て、

「NPO法人東京都腎臓病協議会(略称・NPO東腎協)」として発足し、法人としての事業を開始します。

2. 会員減少に歯止めをかけ会員が一丸となり会員拡大と組織率向上のために危機感を持って真剣に努力をします。

3. 社会保障・社会福祉・質の高い透析医療の維持のための全国的運動は全腎協をはじめとする関係団体と連携して活動していきます。

4. 33年間の東腎協活動の原点と成果を踏まえ、これを土台として組織を維持・発展させ、活動の継続を計り、よって社会的責任を果たし社会に貢献することを目指していきます。

5. 腎臓病の知識の普及や予防・啓発・啓蒙活動を積極的にを行い透析患者の減少に寄与したいと望みます。

6. 「腎臓移植」をより普及・推進する運動を全腎協や臓移植と連携して強力に進めます。

7. 都立病院として存続している病院に「腎不全センター」の設置を、公社化後民営化される病院の「腎不全センター」の維持を強く要望していきます。

8. 透析患者の拠り所となつている心身障害者医療費助成制度と東京都医療費助成制度を堅持するとの約束を要望します。

9. 会員やその家族の相談に対応し、会員の自立を支援していきます。

10. 東難連や障都連・都職労など要望の一致する他の団体と連携して医療と福祉を守る運動を進めます。

11. 機関誌「東腎協」の定期発行を守り、内容の充実を計り、好まれる会報を目指します。またその間に必要とされる情報をタイムリーに「東腎協ニュース」で伝えていきます。

12. 青年部の育成・成長を求め、青年層の充実により、後継者の育成と世代交代を目指します。

13. 各腎友会での行事や活動により会員の「QOL」の向上を計

り、透析施設およびスタッフとの信頼関係の増進に努め、より有意義な透析生活を目指します。

14. 各地域での腎友会や移送サibus団体の位置づけを検討していきます。

15. 東京都予算への要望・要請は執行部で充分議論し、実現を目指し重点的に且つ、継続的に取り組んでいきます。

〔各局別要請項目は後日提示しますが活動方針（事業計画書）に添って作成いたします〕

以上の活動方針（事業計画）のもと、会員の皆様とともにその実のため、活動を進めていきます。

## 二〇〇五年度スローガン（案）

- 一、要望実現のため会員一人ひとりが新会員の加入推進を！
- 二、腎臓病の予防、治療、研究から社会復帰にいたる腎疾患総合対策の確立を！
- 三、透析医療の質の向上と、誰もが安心して受けられる医療制度の確立を！
- 四、心身障害者医療費助成制度を堅持し、医療・福祉施策のますますの発展を！
- 五、東京都医療費助成制度の堅持と医療・福祉のますますの発展を！
- 六、区市町村での医療・福祉は応能負担を守り、更なる充実を！
- 七、腎臓移植、特に、献腎移植の普及推進を！
- 八、働ける腎機能障害者に職場復帰の道を！
- 九、地震などの災害時における緊急透析体制の早期確立を！
- 十、医療ミスの防止と感染予防の徹底を！

## 2005年度収支予算(案)

自2005年3月1日～至2006年2月28日

### I. 収入の部

(単位円)

| 科 目        | 04年度予算額    | 04年度実績額    | 05年度予算額    | 備 考              |
|------------|------------|------------|------------|------------------|
| 1.会費収入     | 37,260,000 | 35,811,040 | 35,100,000 | 6,500人×5,400円    |
| 2.寄付金収入    | 700,000    | 2,147,788  | 730,000    | 鶴田クリニック、扶桑薬品他    |
| 3.募金収入     | 3,000,000  | 2,800,087  | 2,700,000  | 第35次(05年度)国会請願募金 |
| 4.協賛金収入    | 0          | 330,000    | 100,000    | 20000円×5口        |
| 5.事業収入     | 1,500,000  | 1,770,355  | 1,692,000  |                  |
| ①会報等頒布収入   | 100,000    | 42,400     | 0          |                  |
| ②広告収入      | 1,250,000  | 1,540,000  | 1,512,000  |                  |
| ③物品販売収入    | 70,000     | 115,600    | 100,000    | 全腎協取扱い品還元金       |
| ④資料印刷代収入   | 80,000     | 72,355     | 80,000     |                  |
| 6.預金利子     | 3,000      | 1,718      | 1,200      |                  |
| 7.雑収入      | 100,000    | 108        | 20,000     |                  |
| 当期合計(A)    | 42,563,000 | 42,861,096 | 40,343,200 |                  |
| 源泉預り金、前受け金 | 0          | 5,561      | 0          |                  |
| 前期繰越収支差額   | 22,394,441 | 22,394,441 | 25,291,588 |                  |
| 収入合計(B)    | 64,957,441 | 65,261,098 | 65,634,788 |                  |

## II. 支出の部

(単位 円)

| 科 目                    | 04年度予算額            | 04年度実績額           | 05年度予算額            | 備 考               |
|------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|
| <b>事業費</b>             |                    |                   |                    |                   |
| 1.腎疾患対策事業費             | 2,500,000          | 2,423,610         | 2,248,700          | 全腎協納付金、都民の集い経費    |
| 2.腎移植推進事業費             | 800,000            | 573,238           | 630,000            | 腎キャンペーン経費         |
| 3.交流事業費                | 800,000            | 290,914           | 866,000            | ブロック、学習、地域等交流会    |
| 4.青年部事業費               | 400,000            | 275,038           | 400,000            |                   |
| 5.会報発行事業費              | 4,450,000          | 4,339,041         | 4,583,000          |                   |
| ①印刷費                   | 2,800,000          | 2,976,330         | 3,000,000          | A4版4色、7,500部      |
| ②編集費                   | 450,000            | 235,374           | 253,000            |                   |
| ③発送費                   | 1,200,000          | 1,127,337         | 1,330,000          | 全腎協含む             |
| 6.組織対策事業費              | 300,000            | 172,750           | 600,000            | 会員拡大              |
| 7.災害対策事業費              | 50,000             | 3,400             | 50,000             |                   |
| 8.メディア事業費              | 220,000            | 252,740           | 253,000            |                   |
| ①インターネット・HP維持費         | 200,000            | 239,910           | 240,000            | ホームページ使用料         |
| ②声の会報                  | 20,000             | 12,830            | 13,000             | カセットテープ代          |
| 9.会議費                  | 2,900,000          | 2,794,609         | 3,062,000          |                   |
| ①総会費                   | 1,500,000          | 1,517,155         | 1,500,000          | 会場費、議案書、講師謝礼他     |
| ②役員会費                  | 700,000            | 647,294           | 700,000            | 常任幹事会、幹事会         |
| ③全腎協関係費                | 500,000            | 412,350           | 542,000            | 関東ブロック、全腎協大会等     |
| ④その他会議費                | 200,000            | 217,810           | 320,000            | 各委員会他             |
| 10.事業分担金               | 12,574,000         | 11,989,000        | 11,843,000         |                   |
| ①全腎協分担金支出              | 12,420,000         | 11,842,200        | 11,700,000         | 分担金6,500人×1,800円  |
| ②東灘連分担金支出              | 134,000            | 134,000           | 130,000            | 6500人×20円         |
| ③その他の分担金支出             | 20,000             | 12,800            | 13,000             | 協定協               |
| 11.事業行動費               | 1,500,000          | 766,260           | 974,000            | 役員活動費             |
| 12.物品購入費               | 50,000             | 0                 | 100,000            |                   |
| 13.実態調査費               | 1,500,000          | 952,488           | 610,000            | 集計、報告書            |
| <b>事業費合計</b>           | <b>28,044,000</b>  | <b>24,833,088</b> | <b>26,219,700</b>  |                   |
| <b>管理費</b>             |                    |                   |                    |                   |
| 1.人件費                  | 8,890,170          | 8,468,047         | 9,250,500          |                   |
| ①給料                    | 6,067,000          | 5,876,000         | 6,045,000          | 専従3人分             |
| ②退職積立金                 | 228,000            | 228,000           | 403,000            | 専従3人分             |
| ③アルバイト料                | 2,145,170          | 1,910,240         | 2,342,500          | 4名分               |
| ④保険料                   | 150,000            | 140,457           | 145,000            | 傷害保険、労災保険         |
| ⑤通勤交通費                 | 300,000            | 313,350           | 315,000            | 専従3人分             |
| 2.管理経費                 | 7,317,588          | 6,668,375         | 7,200,000          |                   |
| ①事務所管理費                | 4,137,588          | 4,137,588         | 4,137,588          | 賃料、共益費 344,799円   |
| ②光熱費・水道料金              | 350,000            | 306,624           | 340,000            |                   |
| ③通信費                   | 1,300,000          | 940,488           | 950,000            | 電話、切手、メール便、小包等    |
| ④備品費                   | 370,000            | 546,585           | 580,000            | 印刷機・コピー機、パソコンリース代 |
| ⑤事務用品費                 | 100,000            | 56,634            | 242,412            | 印鑑、他マコトヤ          |
| ⑥新聞図書費                 | 100,000            | 68,820            | 100,000            | 都政新報、新日本法規出版      |
| ⑦印刷料                   | 800,000            | 465,232           | 700,000            | 封筒、印刷用紙           |
| ⑧保険料                   | 10,000             | 9,720             | 10,000             | 火災保険              |
| ⑨雑費                    | 150,000            | 136,684           | 140,000            |                   |
| <b>管理費合計</b>           | <b>16,207,758</b>  | <b>15,136,422</b> | <b>16,450,500</b>  |                   |
| <b>予備費</b>             | <b>0</b>           | <b>0</b>          | <b>100,000</b>     |                   |
| <b>当期支出合計(C)</b>       | <b>44,251,758</b>  | <b>39,969,570</b> | <b>42,770,200</b>  |                   |
| <b>当期収支差額(A)-(C)</b>   | <b>△ 1,688,758</b> | <b>2,891,586</b>  | <b>△ 2,427,000</b> |                   |
| <b>次期繰越収支差額(B)-(C)</b> | <b>20,705,683</b>  | <b>25,291,588</b> | <b>22,864,588</b>  |                   |

# 2005年度役員候補者名簿

05.03.31現在

| No. | 役職名    | 氏名     | 会名            |    |
|-----|--------|--------|---------------|----|
| 1   | 会長     | 榎原 靖夫  | 高中腎友会         | ○  |
| 2   | 副会長    | 木下 久吉  | 笹塚愛生クリニック友の会  | ○  |
| 3   | 副会長    | 戸倉 振一  | 森山病院友の会       | ○  |
| 4   | 副会長    | 藤原 実   | 嬉泉病院ニーレ友の会    | ○  |
| 5   | 事務局次長  | 小関 盛通  | 柳原健腎会         | ○  |
| 6   | 事務局次長  | 木村 妙子  | 上野しのばず会       | ○  |
| 7   | 会計     | 井上 寧枝  | 吉祥寺あさひ腎友会     | ○  |
| 8   | 常任幹事   | 阿部 敏弘  | 吉祥寺あさひ腎友会     | ○  |
| 9   | 常任幹事   | 安保 敏夫  | あけぼの友の会       | ○新 |
| 10  | 常任幹事   | 石井 虎二  | 新小岩クリニック友の会   | ○新 |
| 11  | 常任幹事   | 石山 久美子 | 個人会員          | ○新 |
| 12  | 常任幹事   | 押山 大作  | にこたま会         | ○  |
| 13  | 常任幹事   | 小野 協子  | 東海病院ひまわり会     | ○  |
| 14  | 常任幹事   | 軽部 和之  | すながわ相互患者会いずみ  | ○  |
| 15  | 常任幹事   | 菊地 貞夫  | 優人クリニック患者会    | ○新 |
| 16  | 常任幹事   | 久保 正業  | 松和患者会新宿南口支部   |    |
| 17  | 常任幹事   | 黒田 文夫  | 板中腎友会         | ○新 |
| 18  | 常任幹事   | 小林 敬   | 町屋駅前クリニック腎友会  | ○  |
| 19  | 常任幹事   | 澤田 聡子  | 代々木病院腎友会      | ○  |
| 20  | 常任幹事   | 田中 助成  | 聖路加ニーレ会       |    |
| 21  | 常任幹事   | 東野 榮夫  | あけぼの友の会       | ○  |
| 22  | 常任幹事   | 富山 光子  | 嬉泉病院ニーレ友の会    | ○  |
| 23  | 常任幹事   | 蛭田 範博  | 新小岩クリニック友の会   | ○  |
| 24  | 常任幹事   | 古木 直之  | 鶴田クリニック友の会    | ○新 |
| 25  | 常任幹事   | 吉沢 正雄  | 江東橋クリニック腎友会   | ○新 |
| 26  | 常任幹事   | 吉田 芳子  | 南大沢パオレ腎友会     | ○  |
| 1   | オブザーバー | 須賀 春美  | 虎の門・高津会 本院支部  | ○新 |
| 1   | 相談役    | 糸賀 久夫  | 松和患者会新宿南口支部   |    |
| 2   | 相談役    | 一ノ清 明  | 虎の門・高津会 分院支部  |    |
| 3   | 相談役    | 高橋 勇二郎 | 田端駅前クリニックグループ |    |
| 4   | 相談役    | 柳 光夫   | 小豆沢病院腎友会      |    |
| 5   | 相談役    | 森 義昭   | 虎の門・高津会 本院支部  |    |
| 1   | 会計監査   | 大場 邦子  | 嬉泉病院ニーレ友の会    |    |
| 2   | 会計監査   |        |               |    |

| No. | 役職名 | 氏 名     | 会 名            | 備 考 |
|-----|-----|---------|----------------|-----|
| 1   | 幹事  | 安藤 巴    | 愛和腎友会          | ○   |
| 2   | 幹事  | 高橋主任看護師 | 青葉病院腎友会        | 新会  |
| 3   | 幹事  | 島貴 克利   | 赤羽中央病院腎センター腎友会 |     |
| 4   | 幹事  | 宮本 保    | 昭島腎クリニックひまわり会  | ○   |
| 5   | 幹事  | 金井 仁    | 秋葉原腎クリニック腎友会   |     |
| 6   | 幹事  | 稲見 計彦   | あけぼのクリニック友の会   |     |
| 7   | 幹事  | 及川 一俊   | あけぼの友の会        | ○   |
| 8   | 幹事  | 上垣 保朗   | 阿佐谷すずき腎友会      | ○   |
| 9   | 幹事  | 西村 竹俊   | 小豆沢病院透析友の会     | ○   |
| 10  | 幹事  | 安形 晃一   | 飯田橋クリニック腎友会    | ○   |
| 11  | 幹事  | 渡辺 峰男   | 井口腎友会          | ○   |
| 12  | 幹事  | 小野寺 守正  | 板中腎友会          | ○新  |
| 13  | 幹事  | 笹沼 忠    | 板橋駅前板友会        | ○   |
| 14  | 幹事  | 岡部 軍治   | 稲城市立病院腎友会      |     |
| 15  | 幹事  | 沖田 恵次   | 今尾医院腎友会        |     |
| 16  | 幹事  | 杉浦 健祐   | 入谷クリニック腎友会     |     |
| 17  | 幹事  | 佐藤 歳夫   | 御徒町腎クリニック友の会   | ○   |
| 18  | 幹事  | 吉岡 ひろみ  | 上野しのばず会        | ○   |
| 19  | 幹事  | 中嶋 仁司   | 大島腎友会          | ○   |
| 20  | 幹事  | 蒲原 栄子   | 大森東クリニック腎友会    | ○   |
| 21  | 幹事  | 大山腎友会   | 大山腎友会          |     |
| 22  | 幹事  | 矢浪 流    | 小笠原クリニック友の会    | ○新  |
| 23  | 幹事  | 宮本 弘之   | 織本病院腎友会        | ○   |
| 24  | 幹事  | 荒巻 好美   | 菊川橋クリニック腎友会    |     |
| 25  | 幹事  | 坂本 日出夫  | 嬉泉病院ニーレ友の会     | ○新  |
| 26  | 幹事  | 吉田 悦男   | 北多摩病院腎友会       |     |
| 27  | 幹事  | 木村 せい   | 北病院腎友会         |     |
| 28  | 幹事  | 峰岸 君子   | 吉祥寺あさひ腎友会      | ○   |
| 29  | 幹事  | 渋谷 重雄   | 境南クリニック患者会     |     |
| 30  | 幹事  | 山田 陽子   | 貴友会王子病院友の会     | ○   |
| 31  | 幹事  | 伊藤 保雄   | 杏林腎友会          |     |
| 32  | 幹事  | 松崎 正義   | くにたち桜会         |     |
| 33  | 幹事  | 高橋 国一   | 桑の実会           | ○   |
| 34  | 幹事  | 森田 京子   | 小池内科患者会小池会     |     |
| 35  | 幹事  | 金井 信憲   | 江東橋腎友会         | ○   |
| 36  | 幹事  | 中島 常治   | 国分寺こやま腎友会      | ○   |
| 37  | 幹事  | 大村 繁男   | 国分寺南口クリニック親光会  |     |
| 38  | 幹事  | 中村 治兵衛  | 東京健生病院サポテン会    | ○   |
| 39  | 幹事  | 本木 和明   | 幸町腎クリニック腎友会    | ○   |
| 40  | 幹事  | 内藤 富一   | 笹塚愛生クリニック友の会   | ○   |
| 41  | 幹事  | 杉本 五男   | 三軒茶屋病院腎友会      |     |
| 42  | 幹事  | 中村 敏邦   | 十条腎和会          | ○   |
| 43  | 幹事  | 永森 美智子  | 松和患者会新宿南口支部    |     |
| 44  | 幹事  | 田中 克人   | 松和患者会西新宿支部     | ○   |
| 45  | 幹事  | 黒川 英彦   | 松和患者会カトリア支部    | ○新  |
| 46  | 幹事  | 安部 克明   | 新小岩クリニック友の会    | ○   |

| No. | 役職名 | 氏 名    | 会 名             | 備 考  |
|-----|-----|--------|-----------------|------|
| 47  | 幹事  | 清水 国衛  | 新宿水明クリニック腎友会    | ○    |
| 48  | 幹事  | 加藤 明   | IMS総合病院友の会      |      |
| 49  | 幹事  | 関口 礼子  | 腎研友の会           | ○    |
| 50  | 幹事  | 高山 衛士  | NPO腎臓病協議会すずらんの会 | ○    |
| 51  | 幹事  | 佐藤 真佐子 | すながわ相互・患者会いずみ   | ○    |
| 52  | 幹事  | 田中 美由紀 | 聖蹟さくら会          |      |
| 53  | 幹事  | 永田 実   | 聖路加ニーレ会         |      |
| 54  | 幹事  | 柳澤 政義  | 成和腎クリニック友の会     | ○    |
| 55  | 幹事  | 鈴木 正次  | 清湘会記念病院腎友会      | ○新   |
| 56  | 幹事  | 図師 リツ子 | 高尾もみじ会          | ○    |
| 57  | 幹事  | 三河 勝実  | 高中腎友会           | ○    |
| 58  | 幹事  | 隅田 一巳  | 高松病院患者会         |      |
| 59  | 幹事  | 浅見 正治  | 竹口病院腎友会         | ○    |
| 60  | 幹事  | 中村 文子  | 立川北口駅前腎友会       | ○    |
| 61  | 幹事  | 徳永 功   | 立川相互診療所希望会      |      |
| 62  | 幹事  | 河内 亜登務 | 立花クリニック友の会      |      |
| 63  | 幹事  | 石井 元浩  | 調布病院腎友会         |      |
| 64  | 幹事  | 渡邊 靖   | 調布東山クリニック腎友会    | ○    |
| 65  | 幹事  | 岩楯 勝子  | 鶴田クリニック友の会      | ○    |
| 66  | 幹事  | 猪狩 奈美枝 | 帝京大学病院腎友会       | ○    |
| 67  | 幹事  | 渡辺 精二  | 東海病院ひまわり会       | ○    |
| 68  | 幹事  | 会沢 常謙  | 東京共済病院腎友会       |      |
| 69  | 幹事  | 舟木 茂   | 東京厚生年金病院腎友会     |      |
| 70  | 幹事  | 佐治 繁子  | 東京綾瀬腎クリニック腎友会   |      |
| 71  | 幹事  | 岩崎 誠   | 東和病院腎友会         |      |
| 72  | 幹事  | 安立 勇   | 虎の門・高津会 本院支部    | ○新   |
| 73  | 幹事  | 高崎 豊彦  | 虎の門・高津会 分院支部    | ○    |
| 74  | 幹事  | 篠原 栄一  | 中野クリニック腎友会      |      |
| 75  | 幹事  | 下山田 守  | 長久保クリニック腎友会     |      |
| 76  | 幹事  | 降旗 雄二  | 永山腎友会           |      |
| 77  | 幹事  | 高橋 春児  | にこたま会           | ○    |
| 78  | 幹事  | 渡辺 正一  | 西口21友の会         |      |
| 79  | 幹事  | 小野崎 勝  | 練馬・桜台クリニック患者会   |      |
| 80  | 幹事  | 中島 良明  | 長谷川病院腎友会        |      |
| 81  | 幹事  | 遠藤 洋一  | 羽村相互診療所たんぽぽの会   |      |
| 82  | 幹事  | 清水 泰一  | 東高円寺フェニックス会     | ○    |
| 83  | 幹事  |        | 聖橋クリニック腎友会      | 後日推薦 |
| 84  | 幹事  | 花澤 弘   | 深川橋クリニック腎友会     | ○    |
| 85  | 幹事  | 尾崎 治行  | 府中けやき会          | ○    |
| 86  | 幹事  | 平塚 良夫  | 豊生会             | ○新   |
| 87  | 幹事  | 矢沢 輝之  | 望星田無友の会         |      |
| 88  | 幹事  | 古川 富男  | 町屋駅前クリニック腎友会    | ○    |
| 89  | 幹事  | 平田 高士  | 町谷原クリニック腎友会     | ○新   |
| 90  | 幹事  | 大澤 富雄  | 松村クリニックすみれ会     |      |
| 91  | 幹事  | 藤田 亮一  | みさと健腎会          |      |
| 92  | 幹事  | 多田 可子  | 瑞江腎クリニック腎友会     |      |

| No. | 役職名       | 氏 名     | 会 名             | 備 考 |
|-----|-----------|---------|-----------------|-----|
| 93  | 幹事        | 瀬賀 康平   | 三鷹北口クリニック腎友会    | ○   |
| 94  | 幹事        | 野崎 順子   | 南大沢パオレ腎友会       | ○   |
| 95  | 幹事        | 大野 幸子   | 南千住病院河童会        | ○   |
| 96  | 幹事        | 小堀 明人   | 南多摩病院のぼら会       | ○   |
| 97  | 幹事        | 森 善哉    | 武蔵境駅前クリニック腎友会   |     |
| 98  | 幹事        | 堀 豊     | 村上医院ひまわり会       | ○   |
| 99  | 幹事        | 池谷 匠    | めじろ台西澤クリニックめじろ会 | ○   |
| 100 | 幹事        | 岸里 悟    | 森山病院友の会         | ○新  |
| 101 | 幹事        | 腎友会     | 谷中三和クリニック腎友会    |     |
| 102 | 幹事        | 田口 一郎   | 柳原健腎会           | ○   |
| 103 | 幹事        | 池崎 一彦   | 山田クリニック         | ○新  |
| 104 | 幹事        | 北爪 勇    | 湯島腎友会           |     |
| 105 | 幹事        | 本間 美奈子  | 優人クリニック腎友会      | ○新  |
| 106 | 幹事        | 今 貞雄    | 代々木病院腎友会        | ○   |
|     |           |         |                 |     |
|     |           |         |                 |     |
|     |           |         |                 |     |
|     |           |         |                 |     |
| 1   | サテライトリーダー | 大畑 ハナ   | 新小岩クリニック・船堀     |     |
| 2   | サテライトリーダー | 菅原 八重   | 代々木病院腎友会        |     |
| 3   | サテライトリーダー | 稲垣 正    | 東海病院ひまわり会 高野台支部 | ○新  |
| 1   | グループリーダー  | 拝崎 美智子  | 青梅市立病院          | ○新  |
| 2   | グループリーダー  | 遠山 素子   | 河北グループ          | ○   |
| 3   | グループリーダー  | 小佐野 長吉  | 全生園患者会          |     |
| 4   | グループリーダー  | 森 朋美    | 相武台ニールンクリニック    | ○   |
| 5   | グループリーダー  | 磯崎 英世   | 月島サマリア病院        |     |
| 6   | グループリーダー  | 高橋 勇二郎  | 田端駅前クリニックグループ   | ○   |
| 7   | グループリーダー  | 久保田 由美子 | 東葛クリニック小岩       |     |
| 8   | グループリーダー  | 石井・武田   | 西クリニック(武田G)     |     |
| 9   | グループリーダー  | 島田 孝司   | 東村山診療所          |     |
| 10  | グループリーダー  | 大塚 栄子   | 八木内科            |     |
| 11  | グループリーダー  | 北川 有利子  | 豊田クリニックグループ     |     |
|     |           |         |                 |     |

# 第34次国会請願署名・募金集計表

2005.03. 最終

| No. | 会 名           | 全腎協   | JPC   | 募金     | No. | 会 名           | 全腎協 | JPC | 募金     |
|-----|---------------|-------|-------|--------|-----|---------------|-----|-----|--------|
| 1   | 愛和腎友会         | 641   | 631   | 32,000 | 64  | 調布病院腎友会       |     |     | 8,400  |
| 2   | IMS総合病院友の会    | 294   | 292   | 34,000 | 65  | 鶴田クリニック友の会    | 316 | 320 | 26,000 |
| 3   | 青葉病院腎友会       | 73    | 73    | 5,000  | 66  | 帝京大学病院腎友会     | 146 | 146 | 16,000 |
| 4   | 赤羽中央病院腎セター腎友会 | 207   | 218   | 6,802  | 67  | 東海病院ひまわり会     | 384 | 349 | 24,000 |
| 5   | 昭陽腎クリニックひまわり会 | 847   | 853   | 87,510 | 68  | 東京共済病院腎友会     |     |     |        |
| 6   | 秋葉原腎クリニック腎友会  |       |       | 220    | 69  | 東京健生病院サボテン会   | 611 | 591 | 14,600 |
| 7   | あけぼのクリニック友の会  | 431   | 440   | 19,000 | 70  | 東京厚生年金病院腎友会   | 59  | 61  |        |
| 8   | あけぼの友の会       | 743   | 689   | 41,000 | 71  | 東和病院腎友会       | 83  | 83  | 4,800  |
| 9   | 阿佐谷すずき腎友会     | 369   | 369   | 27,000 | 72  | 虎の門・高津会       | 611 | 591 | 60,000 |
| 10  | 小豆沢病院透祐友の会    | 22    | 23    | 3,000  | 73  | 長久保クリニック腎友会   | 416 | 409 | 31,500 |
| 11  | 綾瀬腎クリニック腎友会   | 172   | 162   | 13,200 | 74  | 中野クリニック腎友会    | 117 | 117 | 21,000 |
| 12  | 飯田橋クリニック腎友会   | 118   | 117   |        | 75  | 永山腎友会         | 68  | 68  | 4,000  |
| 13  | 井口腎友会         | 479   | 446   | 23,650 | 76  | にこたま会         | 148 | 150 | 7,200  |
| 14  | 坂中腎友会         | 100   | 84    | 2,000  | 77  | 西口21友の会       | 90  | 79  |        |
| 15  | 板橋駅前板友会       | 97    | 99    | 30,800 | 78  | 練馬・桜台クリニック腎友会 | 211 | 189 | 20,800 |
| 16  | 稲城市立病院腎友会     | 49    | 40    | 4,000  | 79  | 長谷川病院腎友会      | 148 | 140 | 20,000 |
| 17  | 今尾医院腎友会       | 219   | 200   |        | 80  | 羽村相互診療所たんぽぽの会 |     |     |        |
| 18  | 入谷クリニック腎友会    | 126   | 126   | 23,000 | 81  | 東高円寺フエニックス会   | 642 | 624 | 24,000 |
| 19  | 上野のばす会        | 484   | 363   | 55,600 | 82  | 聖橋クリニック腎友会    | 350 | 350 | 78,500 |
| 20  | 大島腎友会         | 349   | 319   | 18,300 | 83  | 深川橋クリニック腎友会   | 546 | 538 | 27,900 |
| 21  | 大森東クリニック腎友会   | 726   | 726   | 27,200 | 84  | 府中けやき会        | 404 | 380 | 23,300 |
| 22  | 大山腎友会         |       |       |        | 85  | 豊生会           | 450 | 442 | 53,000 |
| 23  | 御徒町腎クリニック友の会  | 54    | 41    | 12,000 | 86  | 望星田無友の会       | 481 | 479 | 28,200 |
| 24  | 小笠原クリニック友の会   | 512   | 486   | 30,000 | 87  | 町谷原クリニック腎友会   | 48  | 20  | 3,400  |
| 25  | 織本病院腎友会       | 713   | 647   | 99,000 | 88  | 松村クリニックすみれ会   | 150 | 150 | 24,205 |
| 26  | 菊川橋クリニック腎友会   | 102   | 122   | 24,500 | 89  | みさと健腎会        |     |     |        |
| 27  | 堀泉病院ニール友の会    | 2,277 | 2,286 | 96,420 | 90  | 瑞江腎クリニック腎友会   | 195 | 190 | 16,000 |
| 28  | 北多摩病院腎友会      | 119   | 120   | 2,000  | 91  | 三鷹北クリニック腎友会   | 149 | 149 | 14,000 |
| 29  | 北病院腎友会        |       |       |        | 92  | 南大沢ノオシ腎友会     | 186 | 186 | 18,900 |
| 30  | 吉祥寺あさひ腎友会     | 405   | 388   | 67,000 | 93  | 南千住病院河重会      | 36  | 35  | 7,700  |

|    |                 |       |       |         |     |               |        |        |           |
|----|-----------------|-------|-------|---------|-----|---------------|--------|--------|-----------|
| 31 | 貴友会王子病院友の会      | 241   | 226   | 19,900  | 94  | 南多摩病院のばら会     | 609    | 573    | 49,920    |
| 32 | 境南クリニツク患者会      | 138   | 116   | 9,600   | 95  | 武蔵境駅前クリニツク腎友会 | 208    | 202    | 34,400    |
| 33 | 杏林腎友会           | 207   | 225   | 19,000  | 96  | 村上医院ひまわり会     | 223    | 213    | 33,200    |
| 34 | くにたち桜会          | 211   | 197   | 22,000  | 97  | めじろ会          | 64     | 64     | 5,000     |
| 35 | 桑の実会            | 721   | 730   | 43,860  | 98  | 森山病院友の会       | 2,257  | 2,229  | 151,260   |
| 36 | 小池内科患者会小池会      | 63    | 63    | 6,000   | 99  | 谷中三和クリニツク腎友会  | 89     | 89     | 19,600    |
| 37 | 江東橋腎友会          | 300   | 274   | 7,800   | 100 | 柳原健腎会         | 212    | 172    | 25,520    |
| 38 | 国分寺こやま腎友会       | 711   | 681   | 41,100  | 101 | 山田クリニツク腎友会    | 180    | 181    | 11,000    |
| 39 | 国分寺南口クリニツク親光会   | 128   | 145   | 9,000   | 102 | 優人クリニツク患者会    | 259    | 256    |           |
| 40 | 幸町腎クリニツク腎友会     | 184   | 150   | 6,000   | 103 | 湯島腎友会         |        |        |           |
| 41 | 世塚愛生クリニツク友の会    | 21    | 26    | 3,200   | 104 | 代々木病院腎友会      | 553    | 536    | 54,000    |
| 42 | 三軒茶屋病院腎友会       | 330   | 330   | 19,000  | 105 |               |        |        |           |
| 43 | 十条腎和会           | 360   | 371   | 4,200   |     |               |        |        |           |
| 44 | 松和患者会西新宿支部      | 442   | 443   | 26,280  |     | 患者会合計         | 33,196 | 32,009 | 2,411,387 |
| 45 | 松和患者会新宿南口支部     | 414   | 298   | 11,520  | 1   | 青梅市立病院        | 311    | 294    | 6,000     |
| 46 | 松和患者会カトリア支部     | 380   | 252   | 17,300  | 2   | 河北グループ        | 50     | 50     | 3,000     |
| 47 | 新小岩クリニツク友の会     | 1,782 | 1,772 | 94,440  | 3   | 全生園患者会        |        |        |           |
| 48 | 新宿水明クリニツク腎友会    | 102   | 106   | 12,600  | 4   | 相武台ニールクリニツク   | 58     | 64     | 3,000     |
| 49 | 腎研友の会           | 366   | 320   | 16,500  | 5   | 東京女子医大田端グループ  | 30     | 20     | 3,000     |
| 50 | 腎臓病協議会すずらん会     | 261   | 242   |         | 6   | 東葛クリニツク小岩     | 20     | 20     | 2,000     |
| 51 | すなわね相互診療所患者会いずみ | 450   | 428   | 20,000  | 7   | 豊田クリニツクグループ   | 30     | 30     | 1,200     |
| 52 | 聖路さくら会          | 210   | 227   | 10,500  | 8   | 西クリニツク(武田G)   | 705    | 689    | 92,500    |
| 53 | 清洲会記念病院腎友会      | 545   | 566   | 102,000 | 9   | 町屋駅前クリニツク     | 352    | 313    | 27,000    |
| 54 | 聖路加ニール会         | 162   | 164   | 10,000  | 10  | 東村山診療所        | 40     | 40     |           |
| 55 | 成和腎クリニツク友の会     | 300   | 300   | 30,000  |     |               |        |        |           |
| 56 | 高尾もみじ会          | 181   | 154   | 8,700   |     |               |        |        |           |
| 57 | 高中腎友会           | 241   | 224   | 9,000   |     |               |        |        |           |
| 58 | 高松病院患者会         | 165   | 135   | 7,000   |     |               |        |        |           |
| 59 | 竹口病院腎友会         | 435   | 435   | 25,800  |     | グループ合計        | 1,596  | 1,520  | 134,700   |
| 60 | 立川北口駅前腎友会       | 210   | 210   | 9,000   |     | 個人会員          | 947    | 907    | 254,000   |
| 61 | 立川相互腎クリニツク希望会   | 281   | 257   | 27,180  |     |               |        |        |           |
| 62 | 立花クリニツク友の会      | 227   | 231   | 17,400  |     |               |        |        |           |
| 63 | 調布東山クリニツク腎友会    |       |       |         |     | 総 合 計         | 35,739 | 34,436 | 2,800,087 |

## 2005年度東腎協総会宣言(案)

本日、私達の東腎協は結成以来33回目の総会を開催する事となりました。先輩患者の方々が33年前、我が身も振り返らず壮絶な想いで献身的活動を展開して誕生させてくれた東腎協、そして苦難の活動を強いられる中、情熱と使命感をもって同じ苦しみを持つ多くの仲間達に幾多の成果をもたらし、その歩みを継承してくれました。

その歴史の意義と重みを感じながらも現在の時代の流れや環境の変化の激しさに順応し、また私達透析患者を取り巻く理解ある一般社会の人々や支援を惜しまない関係団体の方々、そして私達の命に関わり日夜努力を惜しまない医療スタッフの皆様方への謝恩の意志も含め、より幅広い活動と社会貢献を目指し、あいまいで脆弱な任意団体から法人格を持つしっかりした質の高い組織とする為にNPO法人格を取得し、自らの活動理念を明確化して、組織の充実を計り社会的責任を果たして行くべき時が来たと考えます。

身近に改革や見直しに名を借りた私達にとって生きる糧とも言える医療、福祉の改悪や後退が必至と言われている今こそ、仲間を増やし訴求力を高め私達透析患者の団結こそが大きな力と信じ、新しい方向性のNPO法人を取得し、より多くの仲間達と情熱と信念を持って行動していきます。

2005年 4月24日

東京都腎臓病患者連絡協議会第33回総会

## 東腎協へ加入のお誘い

腎臓を病む方々は、年々多くなり、とりわけ人工透析を必要とする私達の仲間は、2003年度末の透析医学会調査によると、全国で23万人を超え、東京だけでも2万3000人を超え、医療費の実質的な切下げ、介護保険の実施に伴う諸問題、災害時の対応など、課題が山積している状況にあります。

東腎協の会員は2005年2月末現在、約6500人で、さらにたくさんの方に入会していただくために努力を続けております。団結こそ力であることは当然ですし、未組織の透析施設や、親睦患者会があっても未加入の患者に対し、常に加入をお願いしています。

もちろん、人工透析をしている方々だけが腎臓病患者ではありません。CAPD（腹膜透析）で社会復帰を果たし頑張っている方、慢性腎炎、糖尿病性腎症などで闘病の毎日をおくり、あるいは入院生活を余儀なくされている方もおられます。

私達、東腎協の設立趣旨は、血液透析に限らず、広くあらゆる腎臓病患者、およびその家族の方を会員資格としていることでお判りのように、それぞれの病状は違っても、闘病に一生懸命の方々同志で助け合い、腎臓病の治療研究、医療体制の充実を目指し、情報を交換し合いながら、福祉・厚生並びに社会的・経済的諸条件の向上を願うものです。その念願で団結した団体です。また、これ以上透析で苦しむ人々を出さないという信念のもと、「腎臓病を考える都民の集い」も開催しております。

すべての腎臓を病む方々の、会への加入を大歓迎いたします。東腎協に加入されますと、東腎協が団体加入している全国組織・（社）全腎協の会員になります。今後予想される医療費引下げ、ないし一部自己負担増の懸念に対する抵抗力の一員になってください。全腎協、東腎協の発行する機関誌は、貴重な医療に関する情報や、患者同志の体験談など、会員の皆様に大変好評な記事で一杯です。また、今後、CAPDに関する医療記事、最新情報についても極力掲載することとし、最近、特に傾向として目立つ糖尿病性腎症についての記述、さらに慢性腎炎で頑張っている患者の皆様への参考記事などに配慮して参りたいと考えておりますので、ご期待下さい。是非楽しみにご覧ください。

ご加入申し込みをお待ちしています。

また、東腎協では、全体活動のほかに東京都を北部・中南部・東部・多摩部と四つのブロックに分けて、年に数回会員相互の交流会を催し、親しく膝を交えて話合える場も設けています。地域腎友会設立も支援して、各市区町村での透析患者のQOL（生活の質）を上げる活動も進めています。お互いの病状、施設の状況、施術レベルなど、大いに勉強になり、お互いに啓発されることが多く好評のようです。

ご加入希望の方は、下記までお申込みください。

東京都豊島区南大塚 2-42-6      信友大塚ビル 6F  
東京都腎臓病患者連絡協議会   TEL   03-3944-4048  
FAX   03-5940-9556

